

萌は、おかあさんに逢えますか。

「萌」と名付けられた…。

す  
て  
ん

「少女萌の物語」

製作総指揮 ■ 大谷信義／酒井治盛  
監督 ■ 黛りんたろう  
脚本 ■ 清水有生  
音楽 ■ 岩代太郎

池内博之

池内博之  
萬田久子／石倉三郎／小野武彦／富士真奈美／三原じゅん子／うじきつよし／山田一統  
新橋耐子／中村梅之助  
黒木 瞳

[illegible]

[www.shochiku.co.jp/suzuran/](http://www.shochiku.co.jp/suzuran/)



## 物語

11年前、明日町駅に置き去りにされていた萌は、育ての父・次郎の愛情を受け、健やかな少女に成長していた。いまや実の親以上に次郎を思う萌。しかし心の片隅ではいつか母に逢える日がくることを信じていた。そんな或る日、次郎のもとに届いた小包には、萌に宛てた赤いマフラーが…。『川本フキ』、母からの贈物だ。萌を動揺させたくない次郎は、そのマフラーを渡すことをためらった。しかし、そんな心配を裏切るように、運命は萌を母との劇的な出会いへと導いた…。



## NHK連続テレビ小説、 27年ぶりに映画化!

あのNHK連続テレビ小説「すずらん」(平成11年4月5日～10月2日放映)が遂に映画になって登場!新しい感動と涙が、この夏、全国映画館のスクリーンに魅ります。映画化の話は、昨年末、放映終了の余韻も冷めやらぬまま、大きな反響にお応えするかたちで急遽決定したもの。NHK連続テレビ小説が映画化されるのは、昭和41年公開の「おはなはん」、48年公開の「藍より青く」以来、なんと27年ぶりのことです。

この夏、日本中が  
あたたかい涙で包まれます。



## 映画で初めて語られる、 萌、11歳の感動物語。

今回の映画化は、連続テレビ小説でも人気の高かった少女時代の萌にスポットを当て、命を救ってくれた青年への憧れ、産みの母親への思いなど、テレビでは語られなかった、まったく新しいエピソードで綴るもの。或る吹雪の夜、明日町駅に置き去りにされていた萌と、愛情込めて萌を育てる駅長の常盤次郎。健気に生きる少女と育ての父との強い絆と愛の物語が、厳寒の北海道を舞台にいま再び甦り、新たな感動と涙を贈ります。



## 黒木瞳、池内博之… 映画ならではの豪華ゲストも!

萌には「すずらん」で連続ドラマに初出演した柊瑠美。その愛らしい容貌と可憐な演技で、映画に初挑戦します。父の常盤次郎には、確かな演技力の実力派俳優・橋爪功。この二人はもちろん、テレビでおなじみとなった「すずらん」の世界に欠かせないキャストが、映画のために再び結集しました。さらに、萌の命を救う青年・勝俣秀次に池内博之、注目の萌の母親に黒木瞳と、映画作品ならではの豪華ゲストが登場。感動をさらに盛り上げます。



## ●すずらんの花言葉●

### Return of Happiness

北海道では毎年5～6月初旬に咲き乱れ、道民に春を告げる花として親しまれている“すずらん”は、健気に人生の春を待つ萌の象徴です。5月1日にこの花を人に贈ると、幸せが再び自分に戻るといので「幸福の復帰」(Return of Happiness)という花言葉を持っています。



6・17(土) 感動のロードショー!

特別鑑賞券発売中! 一般1500円(税抜)

有楽町マリオン9F  
丸の内ピカデリー2  
03(3201)2881

東口・紀伊國屋ビルうら  
新宿ピカデリー3  
03(3356)3614

新宿コマ劇場前広場  
新宿ジョイシネマ2  
03(3209)6180

公園通り・ヒューマックスバジオン4F  
渋谷ジョイシネマ  
03(3462)2539

池袋西口・ロサ会館  
池袋シネマ・ロサ  
03(3986)3713

JR上野駅しのばす口  
上野セントラル  
03(3831)3136

JR川崎駅東口・駐車場完備  
川崎チネチッタ  
044(211)6125